

国際学会報告書

理学研究科 高分子科学専攻 青島研究室 D2 米住 元匡

学会名：1st European Chemistry Congress (August 27 – September 1, 2006, Budapest, Hungary)

私は、このインタラクティブ大学院教育の国際学会発表海外派遣プログラムにより、平成18年8月27日から9月1日までの間、ハンガリーのブダペストで開催された1st European Chemistry Congressに参加しました。この学会は名前の通りヨーロッパ全体の学会であり、規模はとても大きく、また、高分子の分野だけではなく、物理化学、有機化学、環境化学など、様々な分野の研究発表が行われました。

今回、私はポスター発表（1件）を行いました。ポスター会場はヨーロッパだけでなく、アジア、アメリカなど様々な国から大勢の研究者が集まり活発なディスカッションが行われていました。海外の国際学会に参加するのはこれで2回目になりますが、まだまだ英語力が足りないところもあり説明にはかなり苦労しましたが、それでも以前に発表した時に比べると英語力は上達したという実感が得られました。また、オーラル会場ではノーベル賞を受賞された George A. Olah 氏をはじめ、数多くの著名な研究者の講演を聴くことができました。

ハンガリーという国は、公用語が英語ではなくハンガリー語ということもあり、現地に行く前は日常会話でさえもできないのではないかと考えていましたが、首都であったためホテルやレストランなどでは英語も通じ、身振り手振りなども交えながらなんとかコミュニケーションをとることができました。また、ブダペストの伝統ある町並みや町中を流れるドナウ川も非常に素晴らしいものでした。

海外で研究発表をするというような機会は滅多になく、また自分自身の研究についても別の視点から見る事ができたことから考えると、今回の国際学会での発表はこれから研究をまとめていく上で非常に大きなものになったと思います。このようなプログラムが今後も続いてほしいと強く思います。

最後になりましたが、このような機会を与えていただいたインタラクティブプログラム、およびサポートしていただいた方々に深く感謝いたします。

